

広陵町地域公共交通に関する既存交通事業者等へのヒアリング実施報告

1. 既存交通事業者等へのヒアリング概要

- **目的** 既存交通事業者等の経営状況、現行交通サービスの課題、事業状況等を整理し、広陵元気号の運行再編に係る受容性を把握する。なお、住民ワークショップの効果的な実施、住民ワークショップ結果と既存交通事業者による実効性のある市町村有償運送の実証運行を実施するため、新たな移動手段の担い手としての受容性、広陵町の公共交通体系に変化が生じることによる既存交通サービスへの影響等を考慮する。
- **実施日** 2022年8月19日（金）
- **場所** 各事業者の会議室

2. 既存交通事業者等へのヒアリング結果

● 事業者概要

項目	A社	B社	C社
事業エリア	奈良県全域および一部京都府、大阪府、和歌山県	観光バス：奈良県、大阪府 タクシー：西大和交通圏、生駒交通圏	タクシー：西大和交通圏
保有車両数	大型路線バス 458台 小型路線バス 13台 ハイエース 11台	大型観光バス 9台 中型観光バス 1台 小型観光バス 1台 マイクロバス 4台 タクシー 23台	タクシー 観光バス、他

● 困りごと・課題

項目	A社	B社	C社
需要の減少	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 少子高齢化に伴う通勤・通学需要の減少。 ▶ 新型コロナウイルスの影響（新しい生活様式の定着）による行動変容及びインバウンド需要の喪失。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナウイルスの影響（外出自粛、テレワーク等によるタクシー需要の低下。） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新型コロナウイルスの影響、まちづくりの関係もあり、賑わい拠点が大和高田から大和八木に移ったことによる影響。
運転者の不足・高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 求人を出しても新しい人が来ない。 ▶ 新型コロナウイルスへの感染や濃厚接触による長期休業の可能性。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 二種免許保有者減少。 ▶ 新型コロナウイルスによって人を運ぶ仕事に不安の声。 ▶ 給料が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 二種免許取得など制度的なハードルが高い。 ▶ 需要減少もあり給料が十分でない。 ▶ 求人を出しても新しい人が来ない。

● 困りごと・課題

ラッシュ時の混雑	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ラッシュ時、大和高田駅付近は送り迎えの自家用車によって非常に混雑していることで、路線バスの発着時間に影響。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ラッシュ時、家族等の送迎車によって大和高田駅周辺は非常に混雑。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 燃料価格の高騰及び円安・物価高の影響によりコストが増加。 ▶ 令和6年にバス運転者改善基準告示が改定されることで、労働条件の改定を行わなければならない人件費等のコスト増が想定される。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 燃料の高騰によるコストの増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 広陵町はタクシーを利用する文化がなく、自家用車で生活をしているため、タクシーの需要がない。

● 新たな移動手段（市町村有償運送）の担い手としての受容性

項目	A社	B社	C社
担い手としての受容性	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人出不足であり、予約・配車システムを持ち合わせていないため、請け負うのは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 乗合事業の許可はあり、運転者がタブレットを用いた配車等の経験もあるため、請け負い可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ デマンド交通はこれまでに請け負ったことがない。タクシー文化が根付いていない地域性もあり、すぐには難しいと思われる。